



## 9月議会・安道よし子の一般質問

# 長寿を祝い高齢者を励ます施策を

高齢者の所在不明や孤立化が社会問題に。私は、入間市の実態把握の現状と課題について一般質問しました。

施策の具体化を求めました。

### 入間市の高齢者所在確認調査結果

入間市の高齢者所在確認調査結果は、総世帯5万5916世帯のうち、高齢者世帯は7434世帯で、高齢の一人世帯が3000世帯、寝たきりの人が123人。100歳以上の人は35人で所在は確認されています。

戸籍はあるが所在不明の人は、110歳～120歳で8人、120歳～130歳が11人、130歳～140歳で4人でした。

私は、高齢者の孤立化による不幸な事件が相次いだことから、高齢者を地域で見守るネットワークづくりの必要性を強調。他市の例を紹介し、市長に

### 10月から高齢者見守りネットが

市長は、医師会や地域包括支援センター、社会福祉協議会の他、13団体の協力を得て「入間高齢者見守りネットワークシステム」を10月からスタートさせると答弁し、具体化に向け動き出していることを明らかにしました。

敬老会への行政の支援や敬老祝い金制度の拡充についても求めましたが、市長は制度の重要性は認めたものの、拡充の考えはないと消極的でした。



私は、「非核三原則」の法制化を求める請願の紹介議員として、被爆者の方々の願いを伝えなければと、委員会で説明と質疑にのぞみました。

共産党とみらい市民クラブは賛成しましたが、他の会派の反対で不採択に。平和の願いが届かず残念です。

### 東町・入間基地そばの踏切拡幅で歩道の確保を

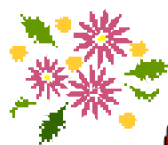
私は、東町入間基地そばの踏切拡幅についても質問しました。地域の強い要望であり、第一病院に通院する方々から改善を求める声も届いています。



朝夕の通勤・通学時の渋滞

に加え、通院の自動車や自転車の往来は頻繁です。私は、歩行者や自転車の安全確保のために歩道の整備を求め、入間基地に用地確保の協力を要請すべきと提案しました。

市も基地側に用地を求めるしかないと答弁。しかし、財源の確保が困難として改修計画を示しませんでした。



いつもはつらつ

# 安道よし子の市議会通信

No. 21  
2010年10月号



日本共産党市議会議員

猛暑の夏も過ぎ、すっかり秋らしくなりました。みなさんはいかがお過ごしでしょうか。「天高く馬肥ゆる秋」、食べ物がおいしい季節です。私は、運動に心がけなければと思っています。



9月議会の議会報告ができあがりました。ぜひ、ご覧下さい。ご意見やご要望などお聞かせ下さいますように。

## 不老川の集中豪雨対策を

下藤沢の不老川沿いの地域は、長年に渡り集中豪雨による水害に悩まされてきました。不老川の土手はコンクリートの壁でかさ上げされるなど一定の改善がはかられましたが、今回の集中豪雨は予想を超えるものでした。

実態把握と早急な改善策を求めると、市長は、「不老川大橋の改修工事が平成24年に完了予定。川底を掘り、流量が3.2倍に拡大する」と答弁。一定の改善が図られる見通しです。

### 不老川大橋の改修で改善

私は、集中豪雨による浸水被害の対策について一般質問しました。地域の



下藤沢地域を流れる不老川

## みなさんの声を届け頑張ります

安道よし子の連絡先      どんなことでもお気軽にどうぞ  
電話・Fax 04(2962)8082      携帯 090(4811)0553

# 「非核三原則」法制化求める請願

9月定例会市議会

# 被爆者と3224人の願い届かず

市長より今議会に提出された議案はすべて全会一致で可決、請願については賛否が分かれました。

## 紹介議員となり採択を主張

今議会には、市内在住の被爆者である原明範さんほか、3224名の署名を添えて提出された「政府及び国会に『非核三原則』の法制化を求める意見書提出に関する請願」が提出されました。

請願の審査を行った総務常任委員会では、日本共産党議員が紹介議員を代表して請願の要旨を説明。各議員からの質問に答え、「世界は今、核兵器廃絶にむけ大きく動き出している。被爆者をはじめ『核兵器のない世界』を実現したいとい

う市民の願いを受け止め請願採択を」と、訴えました。

## 「日米核密約」の存在明らか形骸化されてきた「三原則」

本会議では、紹介議員となった日本共産党、みらい市民クラブの両会派は賛成しましたが、保守系クラブ(1人退場)、公明党が反対し、採択に至りませんでした。

反対の主な理由は「三原則はすでに国是としてある」などというものです。

しかし、「日米核密約」の存在もあきらかになっており、国是であったはずの「非

核三原則」は守られてこなかったのが実態です。

日本共産党は「三原則」が形骸化されていること、法制化は広島・長崎の市長も求めており、被爆者の強い願いであることを理由に賛成討論を行いました。

## 核廃絶願う市民の思い通じず

傍聴した人たちからは「反対した議員は核密約の問題に怒りを感じないのか」「被爆者の気持ちがわからないのか。世界のなかでも遅れをとっている」など、不採択を残念がる声が出されました。

## 市民税減により12億円の地方交付税(普通)が交付

一般会計の補正予算は、当初の予算額369億410万円に、歳入歳出それぞれ10億7253万3000円を追加し、予算の総額を379億7663万3000円とするものです。

今回の補正予算では、個人市民税が4億7000万円も減収、固定資産税1億3400万円の減収など市税収入の減収により、普通交付税が11億8248万

5000円交付されます。

入間市は財政力のある自治体とみなされ、平成18年度から普通交付税は不交付となっていました。5年ぶりに交付されます。

21年度決算認定は一般会計など11会計が提出されました。10月に開かれる決算特別委員会で審査し、12月議会冒頭に採決が行われる予定です。

## 残念と同時に悲しみが

入間市在住の被爆者及び賛同を頂いた3224名の心が届かなかったことに、残念と同時に悲しみすら感じています。

「再び被爆者をつくるな」は、私たち被爆者の命をかけた訴えです。唯一の被爆国として、核兵器の恐怖を実体験した被爆国として、歴史から与えられた使命は、「核兵器のない世界」を実現



することであり、その先頭に立つ責務があるのではないのでしょうか。

(請願者、原さんから議員への訴えの手紙より)

## 共産党議員の一般質問

安道よし子議員

高齢者対策・不老川水害対策など

石田よしお議員

公共施設長寿命化・不老川調節池

吉沢かつら議員

中小企業・商店への支援

## 日本共産党市議会報告

2010年10月

発行/日本共産党入間市議会議員団  
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお	2964-4048	070(5086)2075
安道よし子	2962-8082	090(4811)0553
吉沢かつら	2964-0208	090(3514)3077
小出わたる	2932-7884	090(6542)3883

